

不便の教育

7月初旬に発生したKDDIの通信障害では119番通報ができない、医療や物流、金融機関がマヒするなど、社会に大きな影響を与えたようです。かくいう私もauのスマホユーザーなのですが、毎月の利用料金4千円程度という活用状況のため、通信障害の不便さを感じることがありませんでした。

私の中学生時代無く、今ある物の代表格がこの「スマートフォン（携帯）、タブレット」「ネット」であり、「コンビニ」があげられます。個々が常に通信手段を持ち、いつでも連絡が取り合える。そして世界中の情報を瞬時に知ることができ、それに参加することもできる。食べ物や日用雑貨は24時間いつでも購入でき、ネットや宅配を使えば、家から一歩も出ず誰にも会わずに生活ができるかもしれません。

人は

不便の教育

苦勞するからこそ 知恵を生み出す

辛いからこそ 人に優しくなれる

寂しいからこそ 強くなれる

何も無いから 創造力が生まれる

努力するからこそ 報われる

貧しいからこそ 豊かさの意味が分かる

教員になりたてで、スマホ（携帯）もネットもコンビニもなかった時に知った「不便の教育」の詩。もう古く、現代社会や学校には当てはまらないのかもしれませんが、なぜかいつも私の頭の中にあるのです。

藤川俊彦（7月29日 更新）